



令和2年3月24日

各位

会社名 KNT-CT ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 米田 昭正  
(コード番号 9726 東証第1部)  
問合せ先 執行役員経理部長 伊藤 浩一  
(TEL03-5325-8522)

業績予想および配当予想の修正ならびに特別損失の計上  
および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は、令和元年10月23日に公表いたしました令和2年3月期の通期の連結業績予想を下記のとおり修正し、併せて特別損失の計上、繰延税金資産の取崩しならびに令和元年5月10日に公表いたしました配当予想の修正を行うことを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)令和2年3月期通期連結業績予想の修正内容

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 422,500	百万円 3,500	百万円 3,600	百万円 2,000	円 銭 73.20
今回修正予想 (B)	390,000	△3,300	△3,380	△9,890	△361.95
増減額 (B-A)	△32,500	△6,800	△6,980	△11,890	
増減率 (%)	△7.7	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月期)	411,821	2,532	2,834	1,279	46.81

(2)修正の理由

本年1月下旬以降、新型コロナウイルスによる感染症が国内外で拡大し、国内、海外の個人旅行、団体旅行ともキャンセルや旅行の出控えが相次ぎ、売上高が大幅に減少いたしました。これに伴い、下記のとおり「特別損失の計上」および「繰延税金資産の取崩し」を行う必要が生じたこともあり、通期連結業績予想を修正するものであります。

2. 特別損失の計上について

ソフトウェア等の一部について減損の兆候が認められましたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を慎重に検討いたしました結果、対象となるソフトウェア等の帳簿価額を回収可能価額まで減額する必要が生じたので、連結決算で約18億円を減損損失として特別損失に計上する見込みとなりました。

3. 繰延税金資産の取崩しについて

今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討いたしました結果、繰延税金資産を取り崩すこととし、個別決算で約14億円、連結決算で約42億円の法人税等調整額を計上する見込みとなりました。

#### 4. 配当予想の修正

##### (1)配当予想の修正内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想(令和元年5月10日)	円 銭 —	円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想	—	0.00	0.00
前期実績(平成31年3月期)	0.00	0.00	0.00

##### (2)修正の理由

期末配当予想は未定としておりましたが、「1.業績予想の修正」に記載のとおり、事業環境の急変を考慮し、誠に遺憾ながら見送りとさせていただきます。

(注)上記の業績予想等は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上